

目次

奇蹟の年（1932年）

陽電子……1 / 中性子……4 / 重水素……6 / 人工的核反応……6 / サイクロ
トロン……8 / 東大物理教室……9

理化学研究所の空気

教室に現れない同級生……18 / 寺田物理学……21 / 物理学助手として……23
/ 理研2号館……26 / 東大工学部力学教室……29 / 本郷の理学部では……32

新設大阪帝国大学

阪大五人の教授……37 / 菊池教授の原子核研究の方針……43

晴耕雨読の季節

核実験のいろは……53 / 質量分析器……55 / 青木さんの大功績……61

遅い中性子との出遇い

67

ロコミがもたらしたニュース：67 / イタリア語の雑誌：71 / 核物理に
おけるモーズレーの法則をめざして：76

不純な物質

80

ボーアの玉突き：85 / 重陽子の理論：89 / パルチチオ・ヌメロールム
：91

菊池研究室の周辺

94

陰極線：94 / 宇宙線：96 / 湯川さんとの接触：97 / 中間子論の誕生を
目撃して：103

阪大の同僚たち

109

湯川さんとの交渉はまだある：109 / 武谷三男の出現：113 / 武谷三男さ
んの憶い出：115 / 第一回の卒業生たち：120

加速器の時代

130

高圧ファン・デ・グラーフ加速器：130

忍びよる軍靴の登音	137
中性子・電子の直接作用の仮説……137／忍びよる軍靴の登音……144	
核分裂発見	150
ネーチュア誌に現れた核分裂発見の歴史……150	
核分裂に関する論議	157
彦坂氏の存在……157	
同位体分離	162
電探レーダーの研究……166	
私の戦時研究	169
興味をもてなかつた戦時研究……169／立体回路の回路論に熱中……172	
確率論及び統計論	177
戦争中の原子炉研究	181
大学の留守番……181／中性子の反射……184／中性子減速の時間……187	

敗戦の年

戦争末期の症状：189 / 空襲の体験：191 / 遂に広島、長崎：194

189

情報の餓え

オンザーガーの論文との出会い：201 / 原子力情報—スミス報告との出会：
会い：203

201

日本学術会議の場で

研究か組織か：207 / 学術会議の誕生：209

207

サンフランシスコ条約、茅・伏見提案

原子力研究の開始：217 / 原子力研究の伏見私案：219 / 茅・伏見提案と
学術会議総会：223

217

中曽根予算、原子力憲章

原子力シンポジウムと中曽根予算：228 / 伏見による原子力憲章草案：
230 / 朝永委員会の主張：232 / 原子力平和利用に関する声明：236

228

ビキニ事件

239

福竜丸事件…239 / 放射線に関する研究所の設立…241

藤岡ミツシヨン

初めての外遊…245 / 原子力の年一九五五年…251

原子核研究所

原子核物理学の研究所をつくる…255 / 日本原子力研究所と研究者…258

関西研究用原子炉

関西研究用原子炉の構想…261 / 原子炉設置は私の最高の義務…267

大阪府原子炉問題審議会

略年譜

275

271

261

255

245